

第 15 回月例会報告（北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点）

第 15 回月例会を平成 29 年 12 月 7 日に国立民族学博物館で開催いたしました。本会には館内の構成員 4 名のほか、研究生 1 名、外部（発表者）1 名が参加しました。今回は発表者として、富田敬大助教（立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構）をお迎えしました。「社会主義モンゴルにおける牧畜システムの変容とその特徴—土地法令および土地利用の観点から」というタイトルで、農牧業開発の歴史、憲法や土地使用法などの法令、国や地方行政レベルの文書等によりながら、モンゴルにおける社会主義時代の牧畜の実態の一端を解き明かそうとするものでした。社会主義というシステムの移動という観点から、集団化と生産性の関係、土地の劣化の可能性など、北東アジアの他地域と比較しながら議論が行われました。

